

- 1 前回のリアクションを読んだ感想
教育の現場と社会はとも密接であり、関わりが深いということがわかった。
学習や学力の差は、学校内で解決に近づけることができないという点、その
点から深い関心があるということがわかった。

- 2 小・中学校での「道徳」の時間の印象はどのようなものですか。
① 楽しく有意義な時間であった 2 どちらともいえない 3 退屈な時間だった。
理由→ 本人自身が、部活動などで、様々なことを経験して来ているから、道徳で
学ぶものは日常に近く、真摯に感じることが出来るため。

- 3 道徳の科目は必要だと思いますか。(A参照)

- ① 必要だと思う 2 どちらともいえない 3 必要ない
理由→ 多くの場面設定が作り出されるため、授業の中で「何に」「何と」「子どもに
とっては貴重な経験だし、どの教科よりもその面を学ぶことが
できると思う。

- 4 道徳と、マナー、ルールの違いは何ですか (B参照)

「マナー」は、人が自らあるべき他者との動物性の次元に於いて「直面しにくい」清むように作らされた
一種の身体技法、根底にあるのは他者に対する敬意。

「道徳」とは内面的原理であり、そのルールのマナーと結びつくことにより、行為として表出される。
二重の意味で、マナーの内面的原理が「道徳」であり、道徳の延長線上にマナーがある。

- 5 文部科学省は、特別の教科「道徳」を、どのように位置付けていますか (C参照)

「学校における教育活動のイロハ」道徳教育のその場」としている。そこからは、難しくても堅苦しく
ないという意識がある。だが、指導要領が、位置付け(教育活動のイロハ)で、1. 自分
2. 他者、3. 自然、4. 社会といった、各段教科では、教科と道徳の授業を区別して
してこそ真摯に、道徳で「子どもにその生活を通して行う(アウトプット)こと」
で「子どもの」生活教育を更に中心にありたいという「真摯に」という「何に」「何と」を
「子どもの」生活教育を更に中心にありたいという「真摯に」という「何に」「何と」を

- 6 道徳に内容の4領域は何ですか。その細目のうちあなたが重視したい項目は何ですか(2つ)

(D参照) 1. 主として自分自身に関すること 2. 主として人との関わりに関すること 3. 主として
社会との関わりに関すること 4. 主として生命や自然、崇高なものの関わりに関すること。

2. 人との関わりは、この4領域の中で最も大きく関わり、日本のことを考え、国際的な活動や位置付け
を大いにしていること、これは新しい道徳の「子どもに」

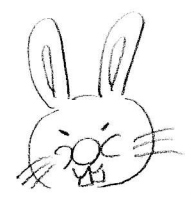
- 7 1時間、道徳の時間の授業を行うとして、どのような授業をするか、考えてください(学年、
テーマも定めて) (C、D参照) テマ「自分と向き合う」 (中学生) (男子)

小学生のうち、自分自身の性格や他者との関わりを築いていくことは「何に」「何と」
次のステップで社会や環境に自ら向けていく必要があり考えられ、中学までは、今まで
6年間同じように人と関わり、より多くの人(セリヤエス)と関わり、より多く
大人に自分自身を見つめられる。この6年間で「何に」「何と」を通じていくが、
成長させてほしい。そのため、A主として自分自身に関することの中で

「個性の伸長」「希望と希望、努力と強志、責任の範囲」に目的を置く。
授業を「何に」「何と」で、中学生は「必然」として、主として人との関わり

- 8 他の方のコメントをもらう(関すること)について考えて、
() →

いつもいつもよくまとまっているね



道徳教育の基礎知識

2019年 教育課程論第9回 (11月22日) 道徳教育の基礎知識

番号 1960 氏名

1 前回のリアクションを読んだ感想

家庭環境が、子どもの教育に影響をあたえてしまうことが分かった。教員が子どものことをしかりと見ていても原因が学校だけにあるわけではないため、家庭と学校の関係がとて大いにならなくてはならないかと思えた。

2 小・中学校での「道徳」の時間の印象はどのようなものですか。

① 楽しく有意義な時間であった 2 どちらともいえない 3 退屈な時間だった。

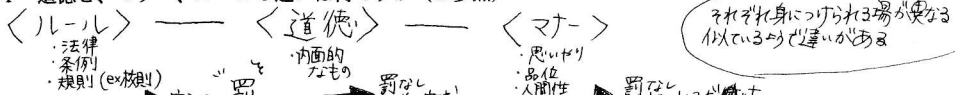
理由→自分自身の意見を発表しても先生は否定しないし、他の教科よりも学習という感覚がないため、とても楽しかった。

3 道徳の科目は必要だと思いますか。(A参照)

1 必要だと思う ② どちらともいえない 3 必要ない

理由→私は好きだが子どもたちには人気がないと知らなかったし、生身の人間が教室でやっていることではない」という文に共感し、難しい教育だと感じた。

4 道徳と、マナー、ルールの違いは何ですか (B参照)



5 文部科学省は、特別の教科「道徳」を、どのように位置付けていますか (C参照)

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、他社会における具体的な生活の中に修身生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、なまじかたあり、主体性のある日本人「教育勅語」を育成するためのもの。
教育活動全体で行うもの

6 道徳に内容の4領域は何ですか。その細目のうちあなたが重視したい項目は何ですか (2つ)

(D参照)

- A. 自分自身に関すること
- B. 人との関わりに関すること
- C. 集団や社会に関すること
- D. 生命、自然、崇高なもの

B, C
→ 規則
→ 親切
・人が生きていく中でかならず人と関わらなければ生きて行けないし、集団になんらかの属して生きて行くため、集団について学ぶことが重要になっていくと思う。

7 1時間、道徳の時間の授業を行うとして、どのような授業をするか、考えてください (学年、

テーマも定めて) (C, D参照) 学年...小学1,2年生 テーマ...規則の尊重

5分	なぜこの授業を行うかの説明	学校に慣れ、友達などの仲も深まり、学校生活に慣れていないが、時間やルールなどしかりと守れているかなどの確認をしながら授業を始める。
40分	参考になる資料と共に個人の考え、グループワーク	規則やルールを守っていない悪い例のある話を読み、対象年と同じ子どもの話が良い。個人で考え、グループ、人がどう考えたのか、意見交換をする
10分	発表	全体での意見共有
5分	まとめ	教員が子どもの意見を受け取り、まとめる。

8 他の人のコメントをもらう

() → 大印はここを 図をつか。2見やすくまとめられている、ステキ◎

本日のテーマ

道徳教育の基礎知識

2019年 教育課程論第9回 (11月22日) 道徳教育の基礎知識

番号 196C 氏名

1 前回のリアクションを読んだ感想

皆すごく見やすく読みやすいです。見やすいと、読みたいと思うので、見やすいリアクションペーパー作りは大切だと思います。

2 小・中学校での「道徳」の時間の印象はどのようなものですか。

① 楽しく有意義な時間であった 2 どちらともいえない 3 退屈な時間だった。

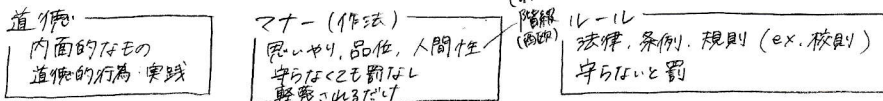
理由→ 人の気持ちを考えたりして、いろいろな意見を聞くことができる授業だったから。

3 道徳の科目は必要だと思いますか。(A参照)

① 必要だと思う 2 どちらともいえない 3 必要ない

理由→ 「道徳は日常生活の中で身につけるものだ」という意見も聞かなくてはいいが、全てを日常生活に任せたら大変になるので、教育として教えることも必要な部分もあるから。

4 道徳と、マナー、ルールの違いは何ですか (B参照)



5 文部科学省は、特別の教科「道徳」を、どのように位置付けていますか (C参照)

人間尊重の精神と生命に対する最前線の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かさをもち、伝統と文化を尊重し、我が国を愛し、個性豊かな文化の創造を図る。

「学校での教育活動の中心で、道徳教育そのものだ」

6 道徳に内容の4領域は何ですか。その細目のうちあなたが重視したい項目は何ですか (2つ)

(D参照)

- A 自分自身に関すること
- B 人との関わりに関すること
- C 集団や社会に関すること
- D 生命、自然、崇高なもの

→ B 礼儀、適切な言動 / C 生命の尊厳、生命の尊重

7 1時間、道徳の時間の授業を行うとして、どのような授業をするか、考えてください (学年、テーマも定めて) (C, D参照)

※小学校3、4年生 「礼儀について」

- ・ なぜ礼儀が必要なのか
- ・ 礼儀とは何か
- ・ 知っている敬語について

礼儀の存在意義を学んで、適切な言動ができるようになる。

8 他の方のコメントをもらう

() → あいさつ大事

あいさつできる子に育てあげて下さい。